



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301

URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 長坂 一

問合せ先責任者（役職名） 執行役員財務経理部長（氏名） 平井 直樹（TEL）03-3746-5100

半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 2025年9月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け電話会議）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	158,076	△7.5	13,956	65.7	13,874	31.9	8,538	133.2
2024年12月期中間期	170,922	△4.2	8,424	△61.2	10,520	△56.4	3,661	△77.0

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △10,276百万円（-%） 2024年12月期中間期 51,175百万円（△10.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年12月期中間期	円 銭 40.00	円 銭 —
2024年12月期中間期	円 銭 17.17	円 銭 —

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	606,571	308,046	45.3
2024年12月期	640,753	325,158	45.2

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 274,564百万円 2024年12月期 289,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2025年12月期	—	15.00			
2025年12月期（予想）			—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	341,000	△2.6	23,300	20.2	22,000	△2.6	11,000	—	51.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) TOKAI ERFTCARBON GmbH

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期中間期	224,943,104株	2024年12月期	224,943,104株
2025年12月期中間期	11,436,182株	2024年12月期	11,470,526株
2025年12月期中間期	213,487,227株	2024年12月期中間期	213,228,088株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2025年8月8日 (金) に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。

この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年1月1日から2025年6月30日まで)の世界経済は、米国の保護主義的な通商政策や地政学的リスクの高まりを背景として、前年比減速傾向にあります。米国の通商政策がグローバルサプライチェーンを通じて世界中に大きな影響を及ぼす一方で、米中対立、長期化するウクライナ戦争、多極化・複雑化する中東情勢等、世界経済の先行き不透明感は、依然として強い状況が続いています。

このような情勢下、当社グループにおいては本年2月に、2030年のありたい姿とそこに到達するための取り組み・施策を中心とした長期ビジョン「Vision 2030」を公表いたしました。2030年のありたい姿として、売上高5,000億円、EBITDAマージン20%、ROIC12%の実現を目指し、「抜本的な構造改革」「成長市場へのコミット」「サステナブルな価値創出」の3つの取組みに注力する方針の下、黒鉛電極事業における国内生産拠点の統合、欧州子会社の売却等の構造改革を実施し、スマルティング&ライニング事業の構造改革についても検討を進めております。中長期的な成長の観点からは、タイのカーボンブラック工場移転プロジェクト推進、使用済タイヤ等からカーボンブラックを生成する共同プロジェクトの始動等に取り組んでおります。また、2024年12月期に実施した減損等により、2025年12月期より償却費等の固定費が減少しております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比7.5%減の1,580億7千6百万円となりました。営業利益は前年同期比65.7%増の139億5千6百万円となりました。経常利益は前年同期比31.9%増の138億7千4百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比133.2%増の85億3千8百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記のとおりです。

[カーボンブラック事業]

販売数量は拠点により差が見られるものの、タイヤメーカーにおける生産調整等のため、全体では前年同期比で減少し、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比5.0%減の755億7千1百万円となり、営業利益は前年同期比25.2%減の81億4千8百万円となりました。

[ファインカーボン事業]

メモリ半導体市場向け主要製品ソリッドSiCフォーカスリングの販売数量が前年同期比で増加したことに加え、米国・黒鉛加工会社のKBR, Inc.とMWI, Inc.の全株を取得し連結子会社化(孫会社化)した影響もあり、売上高は前年同期比で増加いたしました。

一方で、パワー半導体市場の成長減速、および連結子会社化に伴うのれん等の償却費の増加が影響し、営業利益は前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比4.7%増の277億1千3百万円となり、営業利益は前年同期比28.8%減の46億9千7百万円となりました。

[スマルティング&ライニング事業]

アルミ製錬炉の改修需要の回復遅れが継続しており、売価は下落しましたが、コスト削減や昨年度に実施した減損処理に伴う償却費負担軽減により、収益性は前年同期比改善しております。

この結果、当事業の売上高は前年同期比9.6%減の271億5千5百万円となり、営業利益は3億4百万円(前年同期の営業損失は75億5千5百万円)となりました。

[黒鉛電極事業]

中国製鋼メーカーによる過剰供給と中国製鋼材の国際市場への流入により、鉄鋼市況に回復の見通しが立たない状況が継続し、電極市況もアジア、ヨーロッパを中心に低迷しました。

斯かる状況下、当事業は、構造改革の一環として、当社完全子会社であるTOKAI ERFTCARBON GmbH社の株式譲渡を行い、2025年4月より当社連結から除外となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比24.4%減の184億5千1百万円となり、営業利益は4億9千4百万円(前年同期の営業損失は24億2千3百万円)となりました。

[工業炉及び関連製品事業]

エネルギー関連業界の客先プロジェクトの遅れの継続と電子部品関連業界における設備投資停滞の継続により、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比18.0%減の42億4百万円となり、営業利益は前年同期比21.3%減の8億8千5百万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

建機向け鉱山向けは堅調であったものの、農機向けや産機向けでは客先での生産調整が継続しました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比3.6%減の40億円となりました。

負極材

ESS (Energy Storage System) 向けの需要が低迷しました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比17.9%減の9億1千4百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比1.4%減の6千3百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比6.6%減の49億7千9百万円となり、営業利益は前年同期比34.9%減の2億8千6百万円となりました。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,207	72,222
受取手形及び売掛金	69,175	65,363
商品及び製品	30,070	28,395
仕掛品	38,245	35,771
原材料及び貯蔵品	32,424	29,024
その他	9,680	11,160
貸倒引当金	△1,439	△1,442
流動資産合計	270,363	240,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,461	42,925
機械装置及び運搬具(純額)	129,770	122,920
土地	12,016	11,423
リース資産(純額)	7,341	7,629
建設仮勘定	69,539	73,443
その他(純額)	3,452	3,226
有形固定資産合計	264,582	261,568
無形固定資産		
のれん	37,548	32,892
顧客関連資産	16,625	15,026
その他	12,167	11,821
無形固定資産合計	66,341	59,740
投資その他の資産		
投資有価証券	33,307	35,273
長期貸付金	75	3,555
退職給付に係る資産	3,783	3,741
繰延税金資産	1,048	1,046
その他	1,273	1,174
貸倒引当金	△22	△24
投資その他の資産合計	39,466	44,766
固定資産合計	370,390	366,075
資産合計	640,753	606,571

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,085	19,933
電子記録債務	3,551	3,287
短期借入金	6,216	7,467
コマーシャル・ペーパー	59,500	48,500
1年内償還予定の社債	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,223	3,194
未払法人税等	3,848	2,413
契約負債	2,605	3,226
賞与引当金	3,297	1,893
事業再編引当金	7,596	1,610
その他	29,806	27,341
流動負債合計	147,729	128,868
固定負債		
社債	65,000	55,000
長期借入金	52,301	66,724
リース債務	7,870	7,658
繰延税金負債	29,976	31,007
退職給付に係る負債	7,746	4,696
役員退職慰労引当金	101	108
執行役員等退職慰労引当金	42	31
環境安全対策引当金	420	427
その他	4,406	4,002
固定負債合計	167,865	169,657
負債合計	315,595	298,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	10,690	10,121
利益剰余金	146,410	151,747
自己株式	△7,068	△7,047
株主資本合計	170,469	175,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,698	18,453
繰延ヘッジ損益	68	84
為替換算調整勘定	98,536	78,739
退職給付に係る調整累計額	2,785	2,030
その他の包括利益累計額合計	119,089	99,306
非支配株主持分	35,600	33,481
純資産合計	325,158	308,046
負債純資産合計	640,753	606,571

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	170,922	158,076
売上原価	132,331	118,669
売上総利益	38,591	39,407
販売費及び一般管理費	30,166	25,450
営業利益	8,424	13,956
営業外収益		
受取利息	688	971
受取配当金	520	668
持分法による投資利益	362	-
為替差益	1,824	-
その他	488	721
営業外収益合計	3,885	2,360
営業外費用		
支払利息	760	1,149
為替差損	-	616
その他	1,028	677
営業外費用合計	1,788	2,443
経常利益	10,520	13,874
特別利益		
事業再編引当金戻入額	-	1,017
投資有価証券売却益	13	38
固定資産売却益	25	2
特別利益合計	39	1,057
特別損失		
固定資産除却損	7	84
固定資産売却損	1	0
特別損失合計	8	84
税金等調整前中間純利益	10,551	14,847
法人税、住民税及び事業税	4,493	3,555
法人税等調整額	485	1,165
法人税等合計	4,979	4,721
中間純利益	5,572	10,126
非支配株主に帰属する中間純利益	1,911	1,587
親会社株主に帰属する中間純利益	3,661	8,538

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	5,572	10,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,593	753
繰延ヘッジ損益	△140	15
為替換算調整勘定	40,742	△20,417
退職給付に係る調整額	191	△755
持分法適用会社に対する持分相当額	215	-
その他の包括利益合計	45,603	△20,402
中間包括利益	51,175	△10,276
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	47,328	△11,243
非支配株主に係る中間包括利益	3,847	966

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算 書計上額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	スメルテ ィング& ライニン グ事業	黒鉛電極 事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	79,585	26,459	30,030	24,392	5,125	165,593	5,329	170,922	—	170,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	150	160	121	115	561	—	561	△561	—
計	79,599	26,609	30,190	24,513	5,241	166,154	5,329	171,484	△561	170,922
セグメント利益又は損 失(△)	10,887	6,602	△7,555	△2,423	1,125	8,635	439	9,074	△650	8,424

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△650百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△756百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算 書計上額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	スメルテ ィング& ライニン グ事業	黒鉛電極 事業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	75,571	27,713	27,155	18,451	4,204	153,097	4,979	158,076	—	158,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	122	149	77	28	390	—	390	△390	—
計	75,584	27,835	27,305	18,529	4,232	153,487	4,979	158,467	△390	158,076
セグメント利益	8,148	4,697	304	494	885	14,529	286	14,816	△859	13,956

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△859百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、TOKAI ERFTCARBON GmbHの全出資持分を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度末に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「黒鉛電極事業」セグメントにおいて13,175百万円減少しております。